The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	懐徳堂記事
Author(s)	
Citation	懐徳. 1941, 19, p. 48-49
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/89079
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

「所感」と題する講話あり。

▲支那語開講　同十六年一月十四日より定日講義中に支那語講座を設け、關西學院教授張源祥氏を招聘し毎週火、金曜一時間宛開講す。

▲小倉理事長國務大臣に就任　同十六年四月二日小倉理事長國務大臣に就任せらる。

▲藤原銀次郎氏來堂　同年六月十三日前王子製紙社長、前商工大臣藤原銀次郎氏來堂、吉田助教授、木間瀨常務理事、本堂の沿革、事業等につき説明す。

▲小倉理事長大藏大臣に就任　同年七月十八日小倉理事長は近衞第三次内閣成立に際し、大藏大臣に就任せらる。

▲講義、講演時間變更　昭和十五年十一月より講義、講演時間を次の通り變更す。

懷德堂記事

▲記念祭典並講演　昭和十五年十月十二日記念祭典を執行、終つて文學博士西田直二郎先生の「日本書紀と肇國の精神」と題する記念講演あり。

▲理事補缺選擧と評議員推薦　同日新大阪ホテルに於て評議員會を開き、理事補缺選擧の結果、古田俊之助氏當選、次で高原操、高石眞五郎一瀨粂吉、森下博の四氏を評議員に推薦、何れも承諾を得たり。

▲皇紀二千六百年奉祝式　同年十一月十九日午後四時半より大講堂に於て皇紀二千六百年奉祝式を擧行、小倉理事長の挨拶、狩野博士の

定日講義　十一月より三月まで午後六時半より八時半まで、四月より十月まで午後七時より九時まで。

講　演　十一月より三月まで午後六時半より八時まで、四月より十月まで午後七時より八時半まで。

▲現行講義、講演科目　**定日講義**　月曜、靖獻遺言、小學纂註、火曜、支那語、大學音讀、水曜、韓非子、木曜、萬葉集、十八史略、金曜、孟子、支那語、**土曜講演**　東亞共榮圈の諸問題、本草、**通俗講演**　經濟上より見たる近代支那

堂友會記事

幹事　酒井全太郎

▲昭和十五年十月十二日

懷德堂恒祭に會員一同奉仕す。

▲十月二十日

東寺の見學を催す。指導者源豊宗先生の臨地講演を拜聽後佛像を見學す。尙京大花山天文臺見學豫定のところ雨天のため中止。參加者は吉田鋭雄先生を初め四十名であつた。

▲十一月十六日

大講堂に於て紀元二千六百年奉祝式を擧行せらる。理事長小倉正恒先生、顧問狩野直喜先